



2015/5/9

リメイク前の、1992年 TOO CUTE 製のウォルトディズニーキャラ刺繍入り長袖シャツです。
米国に行った時に見つけました。

サイズはメンズでかなり大きかったのですが、このサイズしかありませんでした。

スリムな人の、だぼっとしたゆったりめの服での装いは、可愛い印象を与えるようです。

そんな訳で、購入を決断しました。

しかし、現在はクローゼットの肥やしとなっていました。

シャツとして十分お洒落を楽しみました。

しかし大分使用感が出てきましたので、もう着ることはないでしょう。

とは言うものの、捨てるのはもったいない逸品です。

近年は、見掛けないディズニーの刺繍入りで、この希少なシャツを壊すのは勇気が入りましたが、
違うものとして、またこの可愛さを利用出来たら最高と思い、ハサミを入れます。

トートバッグを作ります。



2015/5/10

まずは表袋から作りました。

このシャツは、背中に刺繍が施されていました。

後ろ身ごろの上部(刺繍のある部分)を袋の片面に使用しました。

そしてもう片面は前身ごろを使用しました。

前身ごろのポケットは、バッグでも利用出来ます。

ボタンが付いているのは面白いと思いました。

前立て(プラケット)に隙間が出来てしまうので、手縫いで表からは見えないように、縫い合わせました。

2枚を中表にして、両脇と底を縫い合わせ、袋状にしました。

こちらが、バッグの後ろ側になります。



2015/5/12

シャツ生地はデニムですが薄いので、内袋を付けることにしました。

また、刺繍が施されているので、表生地の裏側を痛めたくありません。

内袋の片面は、後ろ身ごろの残った下部分を使用しました。

持ち手は、袖を使用しました。

もう片面は、その残った袖 2 枚を縫い合わせました。

前身ごろの余った部分は内袋のポケットにしました。

前立て(プラケット)をポケットの口にし、1 枚はボタン付きで、もう 1 枚はボタンホール付きになりました。

この両ポケットのボタンを使うことはありません。

あくまでも、飾りです。

飾りが違いますので、どちらに何を入れたか分かり易くなります。

それぞれポケットを縫い付けた生地を中表にして、両脇と底を縫い合わせました。

この時、片脇には、返し口(生地を表に返す時のために残す「開き」)を作っています。



2015/5/13

持ち手は、袖で作りました。

袖は2本ありますので、2本の持ち手には丁度いいです。

接着芯を入れて、丈夫にする方法がありますが、それはせず、生地を4枚重ねることで、強度を持たせました。

表袋と内袋を中表にし、持ち手を挟んで縫い合わせました。

そして、補強のために、袋の口部分の縫代と持ち手を合わせて縫いました。

返し口から袋を表に返しました。

袋の口を補強ステッチしました。

最後に、返し口(生地を表に返す時のために残す「開き」)を手で縫い、穴を塞ぎました。

大きめのシャツ1枚で、トートバッグが1個完成しました。
